



## = 授産品バザー開催 =



秋らしい晴天の10月19日（水）に「旧ゆめ広場」にて今年度第6回目の「授産品バザー」を開催いたしました。この日は販売ボランティアが少なくぎりぎりの状態でスタートで心配しましたが、午後から来場者が急に増えた時間帯でも、それほどお待たせすることもなく何とか対応することができましたのでほっとしました。しかし今後のことを考えるとまわりの方に呼びかけて販売ボランティアをもう少し増やしていかなければと痛感しました。

今年度は5月から「授産品バザー」を毎月開催していますが、派手に宣伝をしている訳でもないのに毎月のように来場して授産品を購入していただける方がいらっしゃることに感謝の気持ちでいっぱいです。よりよいバザーにしていくために来場者にアンケートをお願いするという計画を立てています。今月はできませんでしたが、来月はぜひ実施したいと考えています。

今月の商品紹介は「癒とりの里」から新商品として出していただいた「シフォンケーキラスク」です。今まで出していただいていた「シフォンケーキ」もとても評判がよかったのですが、「シフォンケーキラスク」も軽い仕上がりで「サクサクとしていて美味しい」という感想をいただき、あっという間に売り切れてしまいました。

今月も「未来サポートステーション北九州」からは先月に引き続き数名の方が来店してくださり、シール付けや販売の協力をしていただきました。ありがとうございました。

この日の販売額は	「旧ゆめ広場」売り上げ：42,340 円
	「協力店」売り上げ： <u>5,260円</u>
	総売り上げ額：47,600円



### 投稿

### 日本人の人口が初めて減少！ しかし、増える日本の人口!!

総務省が26日に発表した2010年10月実施の国勢調査確定値によると、日本の総人口は1億2805万7352人で、05年の前回調査に比べ28万9358人（0.2%）増えました。

◆日本人の人口は、日本在住3か月以上の外国人を除くと1億2535万8854人で、前回調査より37万1294人（0.3%）減少しました。これは、国勢調査で日本人と外国人を区別して集計を始めた1970年調査以来初めてです。

・年齢別にみると、65歳以上が総人口の23%を占めていて、本格的な少子高齢化社会が進んでいる現状が明らかになりました。

◆外国人の人口は、9万2532人（5.9%）増の164万8037人。国籍不明者も56万8120人増えており、日本人の人口の減少分を補って総人口を押し上げた形になりました。

・国籍別では「中国」（46万0459人）が27.9%と、「韓国・朝鮮」（42万3273人）を抜き、初めてトップになりました。

◆最近、この少子高齢社会の介護人材不足を考え、外国人介護士の受け入れが検討されています。これは、作業内容が「3K（きつい、汚い、危険）」で、賃金が安く、社会保障も無いからです。以前、日本より先進国であったヨーロッパなどでも外国人を受け入れ、その方々が高齢化し、街がスラム化した話を聞いたことがあります。この二の舞にならないように、来日してくれた外国人が働きやすい体制を、国を挙げて作って行かなくてはなりません。

◆デンマークのような『安定した介護士の労働環境』を整えることができれば、日本人の他業界に転職した介護士を呼び戻し、将来、介護業界で働きたい人も増えていくと思います。安心して老後が暮らせるためにも、このような施策を早急に検討していただきたいと願います。（蒔田加代）